

平成25年度 新学術領域研究（研究領域提案型）
領域計画書 作成・記入要領

- 1 新学術領域研究（研究領域提案型）の応募に当たっては、公募要領に基づき（i）応募時に提出する書類、（ii）ヒアリング対象領域選定後に提出する書類の二段階に分けて提出することとなります。

この「領域計画書」は、「（i）応募時に提出する書類」であり、ヒアリング対象領域を選定する際の審査資料となるものです。なお、「領域計画書」は、ヒアリング対象領域に選定された後にも審査資料となりますが、応募時に提出した内容について修正することができませんのでご注意ください。

- 2 領域計画書の作成に当たっては、公募要領で定めるルールに基づいて、領域代表者及び各計画研究の研究代表者が責任を持って作成願います。特に、領域代表者は、各計画研究の研究代表者が入力する応募情報だけでなく、その基となる各計画研究の研究内容についても十分確認してください。

なお、「研究代表者」、「研究分担者」、「連携研究者」、「研究協力者」の定義については、公募要領36～37頁を参照してください。

- 3 所定の様式の改変は認めません。また、該当頁以外に頁の追加は認めません。

- 4 英語で記入された「領域計画書」も受け付けます。ただし、「領域計画書」応募情報（Web入力項目）のうち13. 領域代表者、14. 事務担当者、15. 関連研究分野研究者、16. その他については日本語で入力してください。

I 応募情報（Web入力項目）

以下の項目については、「領域計画書」応募情報（Web入力項目）であり、領域代表者が所属する研究機関から付与された「府省共通研究開発管理システム（e-Rad）」（以下、「e-Rad」という。）のID・パスワードによりe-Radにログインした上で、「独立行政法人日本学術振興会科研費電子申請システム」（以下「電子申請システム」という。）にアクセスして直接入力を行ってください。

「領域計画書」応募情報（Web入力項目）は、領域計画書の前半部分を構成することになります。

「領域計画書」応募情報（Web入力項目）に係る作成・入力要領は、「平成25年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 領域計画書 応募情報（Web入力項目）作成・入力要領」を参照願います。

1. 審査希望区分
2. 仮領域番号
3. 応募領域名
4. 英訳名
5. 領域略称名
6. 領域代表者氏名
7. 所属研究機関・部局・職
8. 応募領域の研究概要
9. 関連研究分野（細目）
10. 研究の対象
11. 研究組織
12. 研究経費
13. 領域代表者
14. 事務担当者
15. 関連研究分野研究者
16. その他

II 「領域計画書」応募内容ファイル（添付ファイル項目）

以下の項目は、「領域計画書」応募内容ファイル（添付ファイル項目）の内容であり、領域計画書の後半部分を構成することになります。

領域代表者は、「領域計画書」応募内容ファイル（添付ファイル項目）について、文部科学省の科学研究費助成事業ホームページから様式を取得し記入したものを、「電子申請システム」にアクセスして添付してください。なお、下記1.～4.（1）までについては、11ポイント以上の文字等を使用して記入してください。

「記載事項」

1. 領域の目的等

（1）目的

応募領域の全体構想及び研究目的について、公募要領の「目的」に合致することが明確になるよう、特に次の点について焦点を絞り具体的かつ明確に記述してください。

- ①どのような点が「我が国の学術水準の向上・強化につながる研究領域」であるか。
- ②研究の学術的背景（応募領域の着想に至った経緯、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容等）。
- ③研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか。
- ④公募要領の「対象」に示された内容のいずれに該当し、どのような取組（共同研究や研究人材の育成等）を通じて当該領域をどのように発展させるか。
- ⑤本領域の発展がどのように学術水準の向上・強化につながるか。
- ⑥選択している「系」とどのように関連し、「系」横断的な領域として形成（本領域を構成する研究内容間の相互関係等）しているのか（審査希望区分について、複数の「系」を選択している場合のみ記述してください。）。

（2）応募領域に関連する国内・国外の研究動向等

本欄には、特に次の点について焦点を絞り具体的かつ明確に記述してください。

- ①応募領域に関連する国内・国外の研究動向と本領域との関係をどのように位置づけているか（特に、関連する新学術領域研究及び特定領域研究（終了した領域も含む）、科研費以外の研究費（府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費）において進められている関連研究がある場合は、それらとの位置づけについて必ず記述してください。）。

（3）準備状況等

本欄には、特に次の点について焦点を絞り具体的かつ明確に記述してください。

- ①今までに関連のテーマで過去に新学術領域研究（研究領域提案型）又は特定領域研究に応募したことがある場合は、その応募内容と審査コメントを含む審査結果、ならびにその後の主な変更点・進展について記述してください。
- ②過去に新学術領域研究（研究領域提案型）や特定領域研究、他の研究費において採択された研究グループ等が、それまでの成果を踏まえ更なる発展を目指す研究領域を提案する場合には、中間評価・事後評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果についても記述してください。
- ③学会活動、その他の方法による応募に至るまでの準備研究・事前調査の状況を記述してください。

2. 領域推進の計画・方法

（1）領域推進の計画の概要

当該領域の推進に当たっての、

- 1) 基本的な研究戦略（研究項目を設ける場合にはその考え方を含む）、
- 2) 領域における具体的な研究内容（研究項目を設ける場合には項目毎の研究内容を含む）
- 3) 各研究項目、各計画研究の必要性及び研究項目間、計画研究間での有機的連携を図るための具体的方法、

について概念図等を用いて示してください。また、平成25年度と平成26年度以降に分けて研究計画・方法を示してください。

概念図の記入要項

概念図は本欄の枠内で記載してください。

なお、概念図においては、研究項目間、計画研究間の関係を示し、領域として何を指すのかを明確に示してください。

注)「計画研究」（総括班含む）及び「公募研究」を設けていない応募研究領域は審査に付きません。

注) 研究領域を効率的に発展させるため、研究テーマや領域における役割などにより「計画研究」や「公募研究」をグループ化した研究項目を設定することができます。

(2) 各計画研究（総括班を除く）の研究組織及び研究内容の概要

各計画研究の研究課題名、研究組織（予定される研究者数、研究代表者、研究分担者及び連携研究者の氏名・所属・職・専門分野・研究役割分担）及び研究内容の概要について、領域全体の推進に当たっての役割及び必要性が明確になるように分かりやすく記述してください。

作成に当たっては、計画研究毎に本欄の枠内（1/2頁）で作成してください。なお、本欄については計画研究数に応じて枠の数を増やすことが可能です。

また、応募の段階で、研究期間の途中から計画研究を追加する計画は認めません。

(3) 公募研究の役割

公募研究は採択目安件数10件又は研究経費の合計額が領域全体の研究経費の10%以上のどちらかを上回るように設けなければなりません。

応募領域の推進に当たって、公募研究が本領域においてどのような位置づけにあり、領域全体としてどのような研究を期待するのかについて記述してください。

また、何件程度の研究課題を必要とし、1研究課題当たりどの程度の研究経費が必要かを示すとともに、公募研究の金額を設定する際は、研究遂行が十分可能な研究経費を計上してください。

なお、応募領域の公募研究の配分額の総額については、領域計画書に記載の「公募研究」の「研究経費」の範囲内で設定されます。また、重複応募の制限により、同一研究者が公募研究の研究代表者として応募できる件数は2件（ただし、同一領域に2件応募することはできません。）に限ることとなっていますのでご注意ください。

(4) 研究支援活動の必要性

総括班において、応募領域の研究支援活動（本領域内で共用するための設備・装置の購入・開発・運用、実験試料・資材の提供等）を効率的かつ効果的に行う場合には、その必要性、役割及び活動組織について明らかにしてください。

3. 領域マネジメント

(1) 総括班の役割、研究組織及び活動内容

領域を推進するに当たっての総括班の運営方針、役割、研究組織の構成、個々の構成員の役割、活動内容等について基本となる考え方を説明してください。構成員については、構成員の氏名、専門分野及び研究代表者・研究分担者・連携研究者の別を記入してください。その際、

どのように本領域の全体的な研究方針を策定し、各研究項目、各計画研究の企画調整等を行っていくのか明らかにしてください。なお、必要があれば、概念図等を用いて示してください。

概念図の記入要項

概念図は、必要に応じ本欄の枠内に記載してください。

なお、概念図においては、総括班の組織図等を用いて、総括班の役割、研究組織、活動内容等を明確に示してください。

(2) 領域代表者の領域推進に当たってのビジョン及びマネジメント実績

複数の研究者をまとめ、領域推進に当たって研究組織の総合力を発揮するためには、研究とは別に、リーダーである領域代表者のマネジメント能力が求められます。

領域代表者が、どのような構想を持って円滑な組織運営をし、領域を推進するかについて、基本的な考え方を明らかにしてください。また、過去の異なる研究組織におけるマネジメント実績（新学術領域研究（研究領域提案型）や特定領域研究、他の研究費に係る研究組織における企画・運営、国際学会の企画・運営、各学会の運営、共同利用研究所等における研究計画・運営等）がある場合、それらについて示してください。

4. 研究経費

(1) 研究期間との関連性を含めた研究経費の必要性

応募領域の研究内容及び研究体制等を踏まえ、応募する研究経費の必要性・妥当性について研究期間との関連性を含めて記述してください。なお、研究期間内の特定の年度に重点的に研究費を配分する場合には、その必要性・妥当性を記述してください。

また、領域全体の研究期間と連動しない計画研究が含まれる場合はその必要性について記述してください。なお、1年度目は計画研究（総括班を含む）のみが研究等を開始することになりますのでご注意ください。

(2) 各計画研究の費目別内訳及び主要な設備備品費

本欄については、可能な限り2頁以内で記入してください。ただし、必要があれば3頁になっても構いません。

①各計画研究の費目別の内訳について、記入例を参照の上、計画年度別に簡潔に記入してください。その際、どの計画研究のものかが分かるように作成してください。また、最後に各費目別の合計を記入してください。

(記入例)

【総括班 (X00)】

(単位：千円)

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計
設備備品費							
消耗品費							
旅費	国内						
	海外						
人件費・謝金							
その他							
合計							

【合計】

(単位：千円)

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計
設備備品費							
消耗品費							
旅費	国内						
	海外						
人件費・謝金							
その他							
合計							

②各計画研究の主要な設備備品費については、装置名、数量、予定価格、設置年度、設置予定機関等について記入してください。なお、領域内で共用するための装置・設備を購入するにもかかわらず、各計画研究において、類似の装置・設備の購入等を行う場合には、その理由・関係を記述してください。

5. 主要研究業績

領域代表者、研究代表者及び研究分担者がこれまでに発表した論文、著書、産業財産権等、招待講演のうち本研究に関連する重要なものを、領域代表者又は研究代表者においては10件程度、研究分担者においては5件程度選定し記入してください。なお、学術誌へ未掲載の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限りします。

また、必要に応じて、連携研究者の研究業績についても記入することができます。記入する場合には、「(3)各計画研究の連携研究者」として別に項目を立て記入してください。この際、領域代表者、研究代表者、研究分担者の研究業績として既に記載したものは、記載しないでください。

なお、研究業績については、主に2008年以降の業績を中心に記入してください。それ以前の業績でも本領域に深く関わるものについては記入しても構いませんが、5頁以内で記入してください。

発表論文の場合の記載形式は、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記載されていれば、項目の順序は入れ替えても構いません。また、著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）することも可能です。なお、領域代表者及び研究代表者には二重下線、研究分担者には一重下線、連携研究者には点線の下線を付すとともに、corresponding author には左に*印を記入してください。